

学校運営協議会 & 地域学校協働活動だより

南関町教育委員会教育課

会長あいさつ（教育長 永杉尚久）

本日は、ご多用な中、学校運営協議会委員の皆様と地域学校協働活動運営委員・関係者の皆様方にお集まり頂き、感謝申し上げます。また、今日は県社会教育課より山平県統括アドバイザー、玉名教育事務所大丸社会教育主事、玉名市スポーツ振興課より中山部活動地域コーディネーターにお出でいただいてアドバイスをお願いしております。ご多用な中に大変お世話になります。



本年4月に教育長を拝命して掲げたビジョンが「教育の町、南関を創る」ことです。南関町の教育が町内外から認められ、目指される存在になることを目標にしています。そして、目指す南関町の子ども像を踏まえ、「南関町に根差し、南関町を大切に思う心を持ち、例え南関町を離れたとしても南関町のことを忘れない」そのような人材の育成に努めたいと考えております。

そのためには、子どもたちが南関町に触れ、南関町のことを知り、自分たちで南関町を創る教育活動が、学校や地域の中で展開される必要があると捉えています。

学校の内外で、子どもたちが南関町の生きた教材に触れて、主体的に学び活動する中で目指す人材の育成が図られると考えます。

町内全ての小中学校に関係される方々にこのビジョンを共有していただき、それぞれの学校の特色を生かしながらも、町全体で一つの方向を目指して取組を進めていただくことは、子どもたちにとってとても大切なことです。この合同会議は、このような意味から重要な位置づけにあると認識しております。

今日は、ご提示しましたビジョンを踏まえ、4部会（学力向上部会、心づくり部会、体づくり部会、環境充実部会）の具体的実践事項の協議をお願いしていますが、その中で、先程お話しした事柄や、本年度の重点取組にしている児童生徒主体の企画・運営等の工夫や情報発信・地域体験活動の工夫についても協議が深まることを期待しています。

教育ビジョン

「教育の町、南関を創る」

南関町の子ども像

- 1 町を誇りに思い、ふるさとを愛する子ども
- 2 明るくたくましく、元気にあいさつできる子ども
- 3 思いやりの心を持ち、自分の考えを伝えられる子ども
- 4 夢に向かって、自ら学び挑戦する子ども



●「南関町を大切に思う心を持ち、町を離れたとしても南関町のことを忘れない」

●「南関町に根差し、町づくりに積極的に関わっていく」

志を持った児童生徒の育成

来賓あいさつ・情報提供

玉名市部活動地域コーディネーター(元南関中学校長) 中山 直幸 氏

南関中学校に平成27年度から3年間お世話になりました。当時253名の生徒で各学年3クラス、3年後は208人で各学年2クラスと、生徒数も職員数も激減した3年間でした。

平成29年の10月10日の秋休み、先生方は出勤ですが生徒は休みという日

を利用して南関町拡大学校運営協議会をこのランチルームを利用して実施しました。この時の内容は、前半は校長から説明をし、そのあとは各グループで協議していただき、それぞれの立場でできることを考えてやりましょうと訴えました。最後はコミュニティー・スクールの文科省のマイスターの方である山口県の光市在住の木本先生に講話をいただき、その光市の取組みをモデルとしていましたので今日はその時にお話をいただいたことを基に取り組んでいたことのお話をします。

南関町の小中学校全部の先生方、PTAの役員の皆様、行政の方々、総勢100人ぐらいの皆様と協議したことが7年前になりました。その時の懐かしい写真が出てきたのでご覧ください。まずはこの拡大学校運営協議会をするまえの午前中に南関中学校の職員で学力向上や心づくりなどの4つのグループに分かれて午後の拡大学校運営協議会の持ち方についての校内研を実施しました。

午後の拡大学校雲協議会では、12班に分かれて協議を実施しました。とても熱心に協議をしていただき、各グループからとても素晴らしいご意見の報告をいただきました。



そのあとは「うから館」に集まっていたでいての懇親会となりました。これは当時の教育長大里康守先生からお話をいただいているところです。当時の教育委員会の皆様の紹介の後、各学校の職員の紹介をして各学校の先生方と一緒に学校運営協議会に対しての共通認識と今後の方向性を確認し合いました。その時に出た意見は南関中学校の会議室に掲示しておりました。しかし、これから



がスタートだと思っていましたので100人以上の一人ひとりの付箋に書いてあった意見を

南関町拡大大学校運営協議会 熟慮内容「めざす南関の子どもたちの姿」

心	学力	生活	郷土	健康
<ul style="list-style-type: none"> 18 意欲を思いやることのできる子ども 19 思いやりを思いやることのできる子ども 20 思いやりを思いやることのできる子ども 21 思いやりを思いやることのできる子ども 22 思いやりを思いやることのできる子ども 23 思いやりを思いやることのできる子ども 24 思いやりを思いやることのできる子ども 25 思いやりを思いやることのできる子ども 26 思いやりを思いやることのできる子ども 27 思いやりを思いやることのできる子ども 28 思いやりを思いやることのできる子ども 29 思いやりを思いやることのできる子ども 30 思いやりを思いやることのできる子ども 31 思いやりを思いやることのできる子ども 32 思いやりを思いやることのできる子ども 33 思いやりを思いやることのできる子ども 34 思いやりを思いやることのできる子ども 35 思いやりを思いやることのできる子ども 36 思いやりを思いやることのできる子ども 37 思いやりを思いやることのできる子ども 38 思いやりを思いやることのできる子ども 39 思いやりを思いやることのできる子ども 40 思いやりを思いやることのできる子ども 41 思いやりを思いやることのできる子ども 42 思いやりを思いやることのできる子ども 43 思いやりを思いやることのできる子ども 44 思いやりを思いやることのできる子ども 45 思いやりを思いやることのできる子ども 46 思いやりを思いやることのできる子ども 47 思いやりを思いやることのできる子ども 48 思いやりを思いやることのできる子ども 49 思いやりを思いやることのできる子ども 50 思いやりを思いやることのできる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 1 主体的に取り組める児童の育成 2 考えを整理しつづめる 3 基礎学力を身に付ける 4 学習する力が身に付く 5 学習する力が身に付く 6 学習する力が身に付く 7 学習する力が身に付く 8 学習する力が身に付く 9 学習する力が身に付く 10 学習する力が身に付く 11 学習する力が身に付く 12 学習する力が身に付く 13 学習する力が身に付く 14 学習する力が身に付く 15 学習する力が身に付く 16 学習する力が身に付く 17 学習する力が身に付く 18 学習する力が身に付く 19 学習する力が身に付く 20 学習する力が身に付く 21 学習する力が身に付く 22 学習する力が身に付く 23 学習する力が身に付く 24 学習する力が身に付く 25 学習する力が身に付く 26 学習する力が身に付く 27 学習する力が身に付く 28 学習する力が身に付く 29 学習する力が身に付く 30 学習する力が身に付く 31 学習する力が身に付く 32 学習する力が身に付く 33 学習する力が身に付く 34 学習する力が身に付く 35 学習する力が身に付く 36 学習する力が身に付く 37 学習する力が身に付く 38 学習する力が身に付く 39 学習する力が身に付く 40 学習する力が身に付く 41 学習する力が身に付く 42 学習する力が身に付く 43 学習する力が身に付く 44 学習する力が身に付く 45 学習する力が身に付く 46 学習する力が身に付く 47 学習する力が身に付く 48 学習する力が身に付く 49 学習する力が身に付く 50 学習する力が身に付く 	<ul style="list-style-type: none"> 21 気取った生活習慣ができる子ども 22 気取った生活習慣ができる子ども 23 気取った生活習慣ができる子ども 24 気取った生活習慣ができる子ども 25 気取った生活習慣ができる子ども 26 気取った生活習慣ができる子ども 27 気取った生活習慣ができる子ども 28 気取った生活習慣ができる子ども 29 気取った生活習慣ができる子ども 30 気取った生活習慣ができる子ども 31 気取った生活習慣ができる子ども 32 気取った生活習慣ができる子ども 33 気取った生活習慣ができる子ども 34 気取った生活習慣ができる子ども 35 気取った生活習慣ができる子ども 36 気取った生活習慣ができる子ども 37 気取った生活習慣ができる子ども 38 気取った生活習慣ができる子ども 39 気取った生活習慣ができる子ども 40 気取った生活習慣ができる子ども 41 気取った生活習慣ができる子ども 42 気取った生活習慣ができる子ども 43 気取った生活習慣ができる子ども 44 気取った生活習慣ができる子ども 45 気取った生活習慣ができる子ども 46 気取った生活習慣ができる子ども 47 気取った生活習慣ができる子ども 48 気取った生活習慣ができる子ども 49 気取った生活習慣ができる子ども 50 気取った生活習慣ができる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 11 地元南関のことが好きな子ども 12 地元南関のことが好きな子ども 13 地元南関のことが好きな子ども 14 地元南関のことが好きな子ども 15 地元南関のことが好きな子ども 16 地元南関のことが好きな子ども 17 地元南関のことが好きな子ども 18 地元南関のことが好きな子ども 19 地元南関のことが好きな子ども 20 地元南関のことが好きな子ども 21 地元南関のことが好きな子ども 22 地元南関のことが好きな子ども 23 地元南関のことが好きな子ども 24 地元南関のことが好きな子ども 25 地元南関のことが好きな子ども 26 地元南関のことが好きな子ども 27 地元南関のことが好きな子ども 28 地元南関のことが好きな子ども 29 地元南関のことが好きな子ども 30 地元南関のことが好きな子ども 31 地元南関のことが好きな子ども 32 地元南関のことが好きな子ども 33 地元南関のことが好きな子ども 34 地元南関のことが好きな子ども 35 地元南関のことが好きな子ども 36 地元南関のことが好きな子ども 37 地元南関のことが好きな子ども 38 地元南関のことが好きな子ども 39 地元南関のことが好きな子ども 40 地元南関のことが好きな子ども 41 地元南関のことが好きな子ども 42 地元南関のことが好きな子ども 43 地元南関のことが好きな子ども 44 地元南関のことが好きな子ども 45 地元南関のことが好きな子ども 46 地元南関のことが好きな子ども 47 地元南関のことが好きな子ども 48 地元南関のことが好きな子ども 49 地元南関のことが好きな子ども 50 地元南関のことが好きな子ども 	<ul style="list-style-type: none"> 1 たんぱく、糖質、脂質、鉄の量に対応できる 2 十分な休息をとることができる 3 十分な休息をとることができる 4 十分な休息をとることができる 5 十分な休息をとることができる 6 十分な休息をとることができる 7 十分な休息をとることができる 8 十分な休息をとることができる 9 十分な休息をとることができる 10 十分な休息をとることができる 11 十分な休息をとることができる 12 十分な休息をとることができる 13 十分な休息をとることができる 14 十分な休息をとることができる 15 十分な休息をとることができる 16 十分な休息をとることができる 17 十分な休息をとることができる 18 十分な休息をとることができる 19 十分な休息をとることができる 20 十分な休息をとることができる 21 十分な休息をとることができる 22 十分な休息をとることができる 23 十分な休息をとることができる 24 十分な休息をとることができる 25 十分な休息をとることができる 26 十分な休息をとることができる 27 十分な休息をとることができる 28 十分な休息をとることができる 29 十分な休息をとることができる 30 十分な休息をとることができる 31 十分な休息をとることができる 32 十分な休息をとることができる 33 十分な休息をとることができる 34 十分な休息をとることができる 35 十分な休息をとることができる 36 十分な休息をとることができる 37 十分な休息をとることができる 38 十分な休息をとることができる 39 十分な休息をとることができる 40 十分な休息をとることができる 41 十分な休息をとることができる 42 十分な休息をとることができる 43 十分な休息をとることができる 44 十分な休息をとることができる 45 十分な休息をとることができる 46 十分な休息をとることができる 47 十分な休息をとることができる 48 十分な休息をとることができる 49 十分な休息をとることができる 50 十分な休息をとることができる

「めざすなんかんっ子の姿(案)」

- 南関町を誇りに思い、誇りを伝える子ども
- 思いやりの心を持ち、自分の考えを伝えることのできる子ども
- 健康的で、思いやりの心を持つことのできる子ども
- 心にかかっていることを伝え、めざすなんかんっ子の姿になることのできる子ども

をまとめて、似たような意見ごとにまとめたところ元気のよいあいさつができる子どもについては22ありました。これが南関町の人たちの願いであるのとらえ、めざすなんかんっ子の姿には、この時の皆さんの願いがこもっていることを理解していただきたい。南関町の人

たちの願い、郷土愛、南関町に帰ってきてほしい、南関町を忘れないでほしい、との願いをととても強く感じました。自分の意見をしっかり言えるとの内容が多かったのも、なんかんっ子の姿というのを教育長に提案し、取り上げてもらったという経緯があります。この子ども像の子ども達を育てるために、この組織があるということです。それぞれの部会で何ができるのかということをしっかり話し合いをしていただき進めていただきたい。南関町のコミュニティ・スクールだよりのなかの一文ですが。課題を挙げるだけでなく課題解決となるための協議や取り組みが実働となるこれがとても大切だと思えます。協議はどの町でも行われますが、ではどうするかということになるとなかなか進まないのが現状です。しかし課題解決の取組みとなる実働が今からは求められます。5者連携でそれぞれ

「課題をあげるだけでなく課題解決となるための協議や取組が実働となるよう、地域・行政・学校・保護者・子どもの5者連携・協働により具体的な取組がさらに展開され、南関町の発展と子どもたちの育成が充実したものになることを目指します」

南関町コミュニティスクールだよりの

**できる人が、
できる時に、
できることを、
できるだけ**

の立場でできることは何なのかを考え、ぜひ実働させてほしい。すばらしい組織ができていますのでできる人ができる時にできることに取り組みし、南関町の各小中学校や南関町がますます発展していくことを願っております。

第1回合同会 記 録 用 紙
(学力向上)部会 記録者(小竹 和美)
Action Plan ・協議の柱Bの具体的実践事項
<学校>
○社会に開かれた教育課程とは、学校の教育課程を通じて、子供たちが社会や世界とつながり、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していける力を積極的に育もうとする考え方である。地域の皆様の協力とともに子ども達も地域の行事に参加する中で、子ども達にも地域に恩返しをしたいという気持ちが生じている。
<児童生徒>
<家庭(P T A)>
○南関町の各小学校も、保護者が気軽に職員室にいけるような状況となっている。中学生には小学生みたいな支援は必要ないが、総合的な学習の時間や行事等で多くの地域の方々のご支援をいただいている。 ○上記等の地域の方や保護者との交流の中で、先生方と PTA・地域の方との良き関係性が向上しつつある。
<地域>
○コロナ前のような人材バンク活用を復活させたい。また、人材バンクを共通のものにして各学校で使えるようにしたい。
<行政>
○学校と地域の連携に取り組みたい。 ○婦人会は応援団への協力を行っているので、何かあれば協力依頼を出してほしい。 ○PTA の方の婦人会への加入をお願いしたい。 ○地域に貢献できる子どもの育成のためにも、総合的な学習の時間の見直しが必要である。 ○地域行事等に子どもが参画しやすい環境づくりを進める。

第 1 回合同会 記 録 用 紙	
(心づくり)部会	記録者(田中 亜矢)
Action Plan ・協議の柱 B の具体的実践事項	
<学校>	
<p>○あいさつの大切さを考えさせたい。</p> <p>○多くの地域の方と顔見知りになるためにも、読み聞かせに協力いただく人材も校区を取り払い応援団等への依頼を実施していく。</p> <p>○民生委員さん、主任児童委員さん等に学校へ来ていただく機会を多くつくる。</p> <p>○ほたる音頭などの各学校の伝承活動は、児童数の減少に伴い、対象学年を取り払い実施していくことが重要。</p>	
<児童生徒>	
○地域の行事に参加することにより、地域の方々への感謝の気持ちを育てていく。	
<家庭(P T A)>	
○メンタルを強くするには、生活習慣やあいさつなどを地道にやっていくこと。そしてその行動を大人が褒めることが重要。	
<地域>	
○子ども達が安心して過ごせるために、あいさつや声掛けを通して、地域全体で見守っていることを知ってもらえるように、子ども達に積極的に関わっていく。	
<行政>	
○子ども達の行事への参加→町ホームページから地域行事の発信をしてほしい。	

第 1 回合同会 記 録 用 紙	
(体づくり)部会	記録者(田畑 結香)
Action Plan ・協議の柱 B の具体的実践事項	
<学校>	
○具体的に何をしたらいいか、分かりやすく「学校では○○、家庭では○○を」等の目標を掲げる。→例) 「外遊びを増やしましょう」	
<児童生徒>	
<家庭(P T A)>	
○南関町の子どもの体脂肪が年々増加傾向である。 →バランスの良い食事、栄養面の見直し、食育につなげることができたら良いのではないかと。	
<地域>	
○朝食動画の第 2 弾作成を検討。 ○ <u>InBody (インボディ) の活用</u> 。 →A-life なんかんが毎年 1 0 月頃に実施し、これまで 9 年間のデータがあるため、データの開示を検討。 現在は、生徒向け、家庭向けに結果を配っているだけであるので、今後より良い活用法を見出していく。	
<行政>	
○学級レクリエーション等でニュースポーツの紹介を兼ねて実施に向けた促しを行う。 ○スポーツ推進委員の活用促進。	

第1回合同会 記 録 用 紙	
(環境充実)部会	記録者(加藤 美智子)
Action Plan ・協議の柱Bの具体的実践事項	
<学校>	
<p>○一小では、PTAの協力を得て子ども110番の家の見直しを考えている。事業所を中心に依頼しようとしているが南関町全体で取り組んでみてはどうだろうか。</p> <p>○小中学校で実施されている引き渡し訓練に、就学前児童も入れてほしい。できれば、幼・保、小、中が連携して引き渡し訓練を実施できたらと考える。</p> <p>○荒尾・玉名・山鹿では、非常食が学校に常備されており、非常食を確保すべきだと思う。給食との兼ね合いもあるが、他の地域では給食費として購入し、年度ごとに入れ替えが行われている。</p>	
<児童生徒>	
<家庭(P T A)>	
○街灯を希望する箇所をP T Aで話し合い、行政に申請する。	
<地域>	
○街灯が少ない。街灯を設置するために、設置までの手続き等の説明会ができればと思う。	
<行政>	
<p>○交通安全ののぼり旗が南関交番に余っているので、各学校で協議をして教育課へ連絡をしてほしい。教育課でまとめて依頼をします。</p> <p>○防災無線にあわせて地域の方に子どもたちの下校の見守りをしていただいているので、下校時間が違うときや長期休業中などは実態に合わせてほしい。→→→担当が下校時間への配慮に心がけてはいるが十分な対応ができていない。長期休業中は、外出している子どもたちに帰宅するよう午後4時半に防災無線で呼びかけている。</p>	

ま と め (県統括アドバイザー 山平 敏夫 氏)

1 各学校のホームページから

各小中学校の令和6年度のホームページを見てきたがワクワクする内容があった。見ていてとても楽しいし、優しさ・思いが伝わってくる。「子ども像」や「つけたい力」が充分共有されている。そういう中で子どもの成長がみられているのが南関町であると思う。

令和6年度も順調に子ども達がスタートしている。特に学校や地域・保護者の皆様の力が合わさって順調なスタートできている。

2 幅広い地域住民等の参加

いろんな方が子ども達のモデルになっていただいている。県内を見てももっと企業との連携が求められているが、南関町では企業の方との出会いや連携も取れているのでどんどん伸ばしてほしい。

教育委員会管轄は高校生までと考えると、高校生をつかっでの取組みが南関町の課題ではないかと思う。高校生がボランティアとなって保育園・幼稚園、小学校の子ども達と一緒に取組み、高校生が中学生に小学生が中学生にあこがれるようにしてほしい。南関町には高校はないが高校生はいるので、育った子どもたちのそれぞれの力を18歳の高校生ぐらいまでは地域でどんどん引き出してほしい。

3 子ども像、つけたい力へ

いろんな行事を通して子ども達に対して「身に付けさせたい力」があるなら、昨年通りというよりその年その年の課題をとらえワクワクするような取り組みにしてほしい。自分なりに考え地域の特色を出しワクワクしながら「身に付けさせたい力」を育てていく。今日は、4小・1中の「身に付けさせたい力」がランドデザインにのっているので是非把握してほしい。目的を共通理解せずに皆がバラバラに取り組むとやらされた感となるので、こういう子ども達をみんなで育てるといふ共通理解をしてほしい。それが「やらせられ感」ではなく、ワクワクする・楽しくやっていく秘訣だと思う。

ぜひ高校生までを巻き込んで、子どもが主体的に活動する活躍型の場を設けながら、地域の方々にも元気になってもらうWin-Winの関係になってほしい。



地域学校協働活動の魅力・・・企業との連携
企業との連携は進んでいますか

企業による交通安全見守り



- この活動は、20年以上前から行われており、会社の地域貢献の一つの活動として取り組まれてきています。校区の3か所で、子供たちへ挨拶の声をかけをされながら、見守り活動をされています。
- 職員の皆さんの「おはようございます。」の挨拶に、子供たちも「おはようございます。」の元気な挨拶を返しています。

安心安全な生活そして企業への親しみ

地域学校協働活動の魅力・・・高校生との連携
卒業生とのつながりはありますか

和綿の里づくり



※あさぎり町「つつじヶ丘学園」HPから

- 和綿の栽培や収穫、製品づくりを通して、熊本県球磨郡あさぎり町須恵地区に伝えられる「ハジアイ(支え合い)」「かちやあ(共同労働)」を今に繋いで、子どもからお年寄り、障がいの有無を越えて交流を行う「地域づくり」と信頼できる「ものづくり」を目指している。
- 南稜高校、球磨工業高校、球磨中央高校、人吉高校、人吉高校五木分校球磨支高等部高等部参加

高校生と小学生、保育園児との温かい関係